

# 保健・医療・福祉における 行動科学入門

生活習慣の評価から行動変容の実践まで

鈴木孝太 (愛知医科大学教授)

柿崎真沙子 (名古屋市立大学講師)

菊池宏幸 (東京医科大学准教授) [編著]

B5判・192頁 ISBN 9784469269918

定価2,640円(本体2,400円+税)

医学・歯学・薬学教育モデル  
コアカリキュラムに準拠！

基本的な生活習慣について自らの行動を評価するところから、さまざまな場面における人間の行動を客観的に観察、評価し、その行動を支える社会の仕組みを知る。それらを踏まえて行動変容に関する理論を学び、個人の評価、集団の評価を行い、行動変容を促すための提案ができるところまで、行動科学を系統的に学べる内容構成。



2024年  
9月上旬  
発売予定

## ■主要目次

### ○第1章 基本的な生活習慣とその健康影響

1 食事についての理解を深め、食生活を振り返ってみよう！／2 身体活動・運動についての理解を深めよう！／3 睡眠について知ろう！／4 口腔保健に関する行動を知ろう！／5 インターネット、SNSの現状について知ろう！／6 性感染症の現状について知ろう！／7 喫煙の現状について知ろう！／8 飲酒の現状について知ろう！／9 災害とその影響について知ろう！

### ○第2章 さまざまな場面における人間の行動

1 労働者の行動について／2 子どもの行動について／3 高齢者の行動について／4 障害者の生活と共生社会について／5 患者、健診受診者について／6 救急医療の実際／7 自然災害の被災者について／8 薬物、ギャンブルなどの依存症について／9 国際的な文化の違いと健康関連行動について

### ○第3章 人間の行動を支える社会の仕組みと概念

1 健康、障害と疾病の概念／2 保健・医療・福祉・介護の仕組み／3 健康の社会的決定要因／4 生活習慣病についての現状(個人、集団)／5 リスク管理・危機管理

### ○第4章 行動変容に役立つ基本的理論

1 予防の段階と、集団へのアプローチ方法／2 行動変容に関する主な理論、モデル／3 行動経済学／4 ヘルスリテラシー

### ○第5章 行動変容に向けた具体的な提案例

1 どうやったら禁煙できる？：具体的な喫煙対策／2 生活習慣改善をどのように支援する？：糖尿病を例に／3 メンタルヘルス不調からの復職支援：行動変容という視点から／4 依存症への介入：「やめられない、止まらない」行動と向き合うために

大修館書店

本書の詳細は大修館書店HPへ▶  
☆各ネット書店へのリンクから予約もできます

